

保護者 様

成田市立吾妻小学校
校長 本間 洋

令和7年度 学校評価アンケートのまとめについて（お知らせ）

早春の候、保護者の皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。また、日頃より本校の教育活動についてご理解・ご協力をいただき、ありがとうございます。

さて、保護者の皆様にご協力いただきました学校評価アンケートの結果を、以下の通りご報告いたします。今回のアンケート結果を受け止め、今後のよりよい教育活動につなげていく所存ですので、今後ともご支援・ご協力をお願いいたします。

【保護者向けアンケートの結果】

	評価項目	A				肯定的評価	
		そう思う	B 少し思う	C あまりそう 思わない	D そう 思わない	割合	評価
1	子どもたちは気持ちの良い挨拶や返事ができる。					88.2	◎
2	子どもは宿題等、家庭で学習する習慣が身についている。					78.7	○
3	子どもたちは社会のルールやマナーを身につけている。					92.1	◎
4	子どもは、基礎基本となる学習が身につけている。					86.6	◎
5	子どもは進んで読書をしている。					42.8	▲
6	子どもは友だちと仲良く生活している。					95.1	◎
7	子どもは不安なことや困ったことを相談することができる。					90.8	◎
8	子どもは楽しく登校できている。					93.8	◎
9	子どもは自分の長所や良さを自覚している。					80.1	○
10	子どもは友だちの良いところや頑張っていることを認めている。					95.4	◎
11	学校は今年度のキャッチフレーズ「大事な自分、大事な友だち、I'm OK You're OK」に合った教育に努めている。					87.3	◎
12	学校は分かりやすいように工夫して学習指導を行っている。					87.9	◎
13	学校はいじめや暴力のない学校づくりに努めている。					89.2	◎
14	学校は児童の健康や体力の向上に努めている。					95.4	◎
15	学校は校内外の環境美化に努めている。					92.2	◎
16	学校は便りやメールを通して、分かりやすく情報を提供している。					90.8	◎
17	学校はタブレット端末を活用し、ICT教育の推進に努めている。					89.2	◎
18	学校は相談したことに対して、誠実に対応している。					94.8	◎
19	学校は特別支援教育の充実と理解促進に努めている。					95.4	◎
20	学校は保護者や地域と協力・連携し、児童の健全育成に努めている。					95.4	◎

【児童向けアンケートの結果】

	評価項目	A	B	C	D	肯定的評価	
		そう思う	少し思う	あまりそう 思わない	そう 思わない		
1	きもちのよいあいさつやへんじをしている。					89.4	◎
2	友だちとなかよくすごしている。					95.9	◎
3	がっこうやしゃかいのきまりやマナーを まもろうとしている。					92.7	◎
4	じぶんには よいところがあるとおもう。					80.1	○
5	友だちのよいところや がんばっているところを みつけることができる。					92.9	◎
6	こまったことや きになることを そうだんできる人がいる。					79.5	○
7	がっこうやみんなのために そうじやかかりのしごとなどを いっしょうけんめいおこなっている。					89.2	◎
8	じゅぎょうに いっしょうけんめいとりにくんでいる。					90.9	◎
9	しゅくだいなど いえでのべんきょうに きちんととりくんでいる。					91.3	◎
10	そとあそびやたいいくなどで すすんでうんどうをしている。					85.9	◎
11	せんせいたちは じぶんのよいところやがんばったことを みとめてくれる。					91.9	◎
12	じゅぎょうがわかりやすい。					90.5	◎
13	べんきょうやともだちのことでこまっているときに せんせいたちは たすけてくれる。					91.5	◎
14	がっこうはたのしい。					84.7	○
15	がっこうやいえで本をよくよんでいる。					65.3	△

【アンケート結果より考察】

保護者・児童共に肯定的評価が多かったです。その中で、「進んで読書をしている」の質問に対し、肯定的な評価が他の質問よりも低かったです。学校で図書室を利用して読書の機会を設けていることもあり、児童の肯定的な評価の方が高かったです。それでも70%にとどまり、進んで読書に向かっていないことを子どもたち自身も自覚していることがわかります。保護者の肯定的評価が50%程度と、さらに低くなっています。次年度、学校では日課時程に朝読書の時間を設け、短くとも積み重ねることで、読書への親しみを高められるように取り組んでいこうと考えています。ご家庭においても、本に親しむ機会を増やしていただくよう、お願いいたします。

また、「自分の長所や良いところを自覚している」に対し、児童・保護者の20%が「あまりそう思わない」「そう思わない」と回答しております。学校教育目標にもあるように、友達を大事にするのと同じように

自分自身のことも大事にし、自分の良さや長所に気づき認められるようにしていきたいと思います。次年度、学校全体で個々の子どもたちの良さや長所を認めたり伝えたりする機会を増やしたり、振り返りの時間を通して自分の頑張りを確かめる場面などを設けたりして、子どもたちの自己肯定感を高めていきたいと思ます。また、そのことを通して、「学校が楽しい」と思える児童を増やしていきたいと思ます。

【保護者自由記述欄について】

保護者の皆様から、たくさんのご意見をいただきました。職員で共有し、子どもたちがよりよい学校生活を送れるように活かしていきたいと思ます。

【励ましの意見】

- 子どもが楽しく通えていることが、親としてとてもうれしい。
 - 丁寧な学校運営に努めている。児童だけでなく先生方にとっても働きやすい職場であってほしい。
 - いつも子どもたちと真摯に向き合ってください、恵まれた環境に感謝している。
 - 子どもが学校の話がたくさんしており、授業がとても楽しいと言っている。
 - 外国人家庭への支援もいただきありがたい。
 - いろんな学力の子がいる教室で、細やかにご対応いただき感謝している。
- 掲載しきれませんが、他にもお褒めの言葉を多数いただきました。励みになります。ありがとうございます。

【課題の意見】

- 始業式の荷物が多い。
→安全面から、改善に努めます。

- アプローチ期間（短縮日課）はあるが、授業が少なくなっていないか。
→予め一年間の授業時数を計算し、学級閉鎖等、不測の休業日を想定したうえで、実施しております。必要な授業時数は十分確保できております。心身共に新学期の準備期間として、アプローチ期間は有効と考えて、年間行事として位置づけています。この取り組みに関心をもち、他校でも導入を検討する声が聞かれています。

- 担任の指導や学級経営に不安がある。
→ご心配をおかけして申し訳ございません。指導の意図が正しく伝わるよう、伝え方、伝える場面、言葉の選び方などを再度職員に指導するとともに、いろいろな立場の多くの職員で見守っていくようにしていきます。なお、何かご心配なことがありましたらご相談ください。

- サブグラウンドを舗装してほしい。
→グラウンドのため、児童が体育等で使っています。安全面から、コンクリート舗装の見通しはございません。

- 児童ホーム前の砂利道を舗装してほしい。
→児童ホーム周りの敷地は、学校とは異なる課が管轄しております。児童の学習環境改善や安全確保のための工事が優先される傾向がありますが、児童ホーム利用の際に支障があるようでしたら市へご相談ください。

- 登下校や遊び方のマナーが悪い子がいる。
→引き続き学校でも指導していきますが、春休み前の良い機会としてご家庭でも確認していただくと幸いです。また、ゴミの散らかしなど目に余る場面を見かけたら、地域からの指導としてお声かけをお願いします。